

各国知的財産関連法令
TRIPS 協定整合性分析調査

『国際知財制度研究会』報告書

(平成 28 年度)

2017年 3月

一般財団法人 知的財産研究教育財団
知的財産研究所

『国際知財制度研究会』（平成28年度）委員名簿

委員長	相澤 英孝	一橋大学 大学院国際企業戦略研究科 教授
委員	栗津 卓郎	曾我法律事務所 弁護士
委員	伊藤 一頼	北海道大学 大学院法学研究科・法学部 准教授
委員	今井 正栄	富士フイルム株式会社 知的財産本部長
委員	奥村 洋一	武田薬品工業株式会社 グローバルIPヘッド
委員	梶原 ゆみ子	富士通株式会社 常務理事 法務・コンプライアンス・知的財産本部 副本部長
委員	川合 弘造	西村あさひ法律事務所 弁護士
委員	佐々木 剛史	トヨタテクニカルディベロップメント株式会社 専務取締役
委員	鈴木 草平	ソニー株式会社 知的財産センター センター長
委員	鈴木 将文	名古屋大学 大学院法学研究科 教授
委員	高倉 成男	明治大学 法科大学院 教授
委員	滝澤 紗矢子	東北大学 大学院法学研究科・法学部 准教授
委員	玉田 大	神戸大学 大学院法学研究科 教授
委員	藤井 光夫	日本製薬工業協会 知的財産部長
委員	別所 弘和	本田技研工業株式会社 知的財産部長
委員	山根 裕子	政策研究大学院大学 名誉教授
<オブザーバー>	新留 豊	経済産業省 通商政策局 通商機構部 国際知財制度調整官
	新田 亮	経済産業省 通商政策局 通商機構部 参事官補佐
	赤木 伸悟	経済産業省 通商政策局 通商機構部 係長
	原 泰造	特許庁 総務部 国際政策課 国際制度企画官
	上嶋 裕樹	特許庁 総務部 国際政策課 課長補佐
	笠原 龍	特許庁 総務部 国際政策課 係長
<事務局>	三平 圭祐	一般財団法人 知的財産研究所 常務理事
	櫃本 英吾	一般財団法人 知的財産研究所 研究第二部長
	高瀬 泰治郎	一般財団法人 知的財産研究所 主任研究員
	草間 裕子	一般財団法人 知的財産研究所 研究員

『国際知財制度研究会』報告書（平成 28 年度）

目次

はじめに.....	1
第 1 章 TPP 協定知的財産章の概要と各国の知的財産関連制度	
. TPP 協定知的財産章の概要について.....	2
. TPP 協定知的財産章の各規定と TRIPS 協定や ACTA における規定との比較.....	5
. ASEAN4 力国の TPP 協定知的財産章の担保状況.....	11
. TPP 協定知財章において設けられている経過措置.....	26
第 2 章 TPP 協定の規定に関連する国際的な知的財産問題	
. TPP 協定知的財産章の交渉中及び合意後に、米の産業界等より提起された意見について.....	29
. TPP 協定についての日本の産業界の評価等について.....	35
. TPP 協定知的財産章以外の章における規定中の知的財産に関連する規定の概要.....	46
第 3 章 知的財産保護を巡る最近の状況	
. BREXIT による欧州の知的財産制度への影響、特に我が国ユーザーに対する影響について.....	51
. 米国における営業秘密保護制度 —米国連邦営業秘密保護法—.....	61
. 欧州における営業秘密保護制度 —EU 指令の採択と主要国の対応状況—.....	66
. 農産品に関する地理的表示（GI）制度の状況と国際展開について.....	70
. 知財紛争における ISDS の実効性 —Philip Morris 事件から得られる示唆—.....	75
. Eli Lilly 対カナダの紛争の経過等について.....	96
. インドにおける最近の知的財産に関する政策情報 - 国家知的財産権政策 -.....	115
第 4 章 WIPO 及び WTO/TRIPS 理事会その他フォーラムにおける議論の状況等	
. 国連「医薬品アクセスに関するハイレベル・パネル」の報告書について.....	118
. WIPO における議論の動向	
1 . WIPO 遺伝資源等政府間委員会（IGC）における議論の動向～2016 年 2 月以降の動き～.....	125
2 . 世界知的所有権機関（WIPO）における著作権関連の最近の動向について.....	130
. TRIPS 理事会における議論の動向.....	132
. TRIPS 協定に関連する紛争案件.....	144
. 偽造品の取引の防止に関する協定（ACTA）について.....	156
第 5 章 国際知財制度研究会まとめ.....	158
付属資料	
1 . TPP 比較表.....	資 - 1
2 . TPP 各国経過措置一覧表.....	資 - 59

はじめに

本報告書は、平成 28 年度『国際知財制度研究会』において検討を行った事項についてとりまとめたものである。

今年度の研究会では、第一に、TPP 協定知的財産章の概要、TPP 協定における権利規定に関する TRIPS 協定との比較、及び TPP 協定におけるエンフォースメント規定に関する ACTA との比較を行い、分析した。また、ASEAN4 カ国における TPP 協定知的財産章の担保状況、及び TPP 協定知財章において設けられている経過措置等を調査・検討を行った。

第二に、TPP 協定の規定に関連する国際的な知的財産問題として、TPP 協定について交渉中及び合意後に米国産業界より提起された意見、TPP 協定知的財産章の規定についての日本の産業界の意見等について調査し、TPP 協定知的財産章以外の章における知的財産に関連する規定を分析した。

第三に、各国における知的財産保護の変化に関連して、英国の EU からの離脱 (BREXIT) による欧州知的財産制度における日本ユーザーへの影響について調査し、米国における営業秘密保護 (米国連邦営業秘密保護法)・欧州における営業秘密保護 (EU 指令の採択と主要国の対応状況) について分析した。また、農産品に関する地理的表示 (GI) 制度の状況とその国際展開、知財紛争における ISDS、Eli Lilly 対カナダの紛争の経過、及びインドにおける最近の知的財産に関する政策情報 (国家知的財産権政策) についても分析・検討した。

第四に、国際フォーラムにおける議論に関して、国連「医薬品アクセスに関するハイレベル・パネル」の報告書における議論、WIPO の 2 つの委員会 (遺伝資源等政府間委員会 [IGC] 及び著作権等常設委員会 [SCCR]) における議論の動向について検討し、また、TRIPS 理事会における議論の動向、TRIPS 協定に関連する紛争案件、及び偽装品の取引の防止に関する協定についても分析した。

なお、本報告書は研究会における討議を踏まえて作成されたものであるが、執筆委員の表記がある部分については執筆者の意見であり、執筆委員の表記の無い部分については事務局の意見によるものである。